

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

いくつといくつで、指を使ってしまうのですが



指のかわりに、おはじきやブロックを使って考えさせましょう。

1

指折り数えて計算するのは、計算の障害になることがあります。

例えば、「10は、8と□」という問題で、指を折りながら、9、10と数えて、□は2であると考える1年生が、たくさんいます。

学習の初期の段階では、この方法でも、答えが導き出せるので、完全に否定することはできないのですが、このように、指折り数える習慣が身についてしまうと、「8+3」といった計算にも、9、10、11と、指を折って計算するようになってしまいます。

そして、10以上の数の計算では、指の数がたりなくなって、計算ができなくなってしまいます。

2

おはじきやブロックを使って、数の意味をしっかりと身につけさせましょう。

入門期の数の学習では、時間がかかっても、おはじきやブロックを使って、数の意味のみこむことが大切です。

「5はどんなものの集まりか」、「10はどんなものの集まりか」を、はっきり理解していると、指を使わなくても、答えが導き出せるようになります。

また、即答することを要求しないようにしましょう。

数のしくみや数のイメージが、1年生の頭の中に形成されるのには、体験の繰り返しや集積が必要です。